

巻頭言

紀要発行にあたって

神戸夙川学院大学 観光文化学部長 松井 道男

本学教職員研究活動の成果発表を主な目的とした紀要を発行いたしましたので、皆様方のご高覧に処する次第です。

高等教育機関である大学は、教育と研究をその活動領域の両輪としております。教職員の研究活動を促進するため、本学部では共同研究に対する助成などさまざまな措置を講じておりますが、今般さらに研究成果報告の場として紀要を発行し、さらにその効果を上げようとするものであります。

爾來大学等の刊行物については、そのあり方について多々議論があります。学会等の学術雑誌、一般的な商業出版物が汗牛充棟である状況下で、この上、屋上屋を重ねて何ほどの意味やあるということであります。本学部においてもこの議論は当然あり、本紀要発行が開学からここまで時間を要したのも、費用対効果を含めてこういった点を疑問視する見方が多かった故に他なりません。

しかし、自己満足に過ぎぬというそしりはあるやも知れませんが、とにかく発表の「場がある」ということはそれなりの意味があるものと考えます。本学部はどんな学問分野の包摂も可能とも言える観光文化学部ですので、様々な背景を持つ多士済々の教職員が集っています。

その結果、内容についてもご覧いただく通り、極めて多岐にわたる分野をカバーしたものになっております。しかしこれも観光文化という言葉が持つ「多様性」の所産であるにご理解いただき、大方のご寛容を願っておきます。今後、教職員が各稿に触発され、さらに外部との交流も深まるこ

とによって、自ずと紀要の方向性も定まってくるものと期待しております。

以上発刊のご挨拶とさせていただきます。今後ともよろしく願いたします。